

減収・減益それでも リニア中央新幹線計画を進めるのか！ リニア中央新幹線・効率化・経費節減について5項目を質問 営業費△150億は連結子会社で100億、本体で50億の経費節減 〈平成21年度第2四半期(中間) 連結決算経営協議会〉

10月30日、本部は2009年度第2四半期(中間) 連結決算の経営協議会を開催しました。はじめに、会社側から平成21年度第2四半期連結決算概要の説明があり、決算に対し組合側から質問し協議をおこないました。

会社は、「依然として厳しい経営環境が続く中、安全安定輸送の確保を最優先に一層のサービスの充実を図ったが、当社の収入は減収となり、連結営業収益全体でも減収。一方グループ会社の営業収益は、日本車輛製造株式会社の連結により増加した。通期の業績については、連結営業収益を引き下げるが、引き続き業務執行全般にわたり効率化・低コスト化を徹底し、利益は前回予想を据え置く」としました。

営業収益	: 7, 306億円	前年同期比△423億円	5.5%減
営業費	: 5, 541億円	前年同期比+226億円	4.3%増
営業利益	: 1, 764億円	前年同期比△650億円	26.9%減
営業外損益	: △583億円	前年同期比 104億円改善	
経常利益	: 1, 181億円	前年同期比△545億円	31.6%減
特別損益	: △9億円	前年同期比 +4億円	
四半期純利益	: 696億円	前年同期比△329億円	32.1%減

通期の長期債務縮減見込み額680億円の計画を据え置く

会社の説明後、鈴木委員長から決算概要に対して質問をしました。

中間決算は、厳しい結果であることは理解する。しかし、「鉄道事業」とは本来「山あり、谷あり」であり、むしろ今までが条件に恵まれていたとも言える。だからこそ、「堅実な経営」が求められる。しかし、当社は現実に利益をあげている。だからこそ、配当は中間、期末の予想とも高配当であり、多くの役員を抱えて、潤沢な報酬を出している。その前提に立って、いくつかの意見と質問を述べるとして5点について質問しました。

(1) 経営側は、減収の要因として、景気の低迷の他、高速道路の割引や新型インフルエンザの二つを上げている。新聞によれば、インフルエンザの影響で、JR東日本は約11億円、JR東海は120億円と発表されている。この開きは何か。また、冬の

到来に向けて、様々な影響が予想されるが新型インフルエンザの対策はあるのか、具体策があれば出してもらいたい。

【回答】

新型インフルエンザは、当初神戸の高校生が発症した。関西～関東の出張が控えられたので、収入に影響があった。それ以降は一旦納まった。今後も引き続き対策として、マスクの備蓄、手洗い、アルコール消毒を行うことを実施する。感染が拡大したときに事業の継続をするために、準備を進めている。

(2)減収の対策として、第1四半期のときも触れられていたが、費用の削減が言われている。業務執行全般にわたり「効率化」「低コスト化」が言われており、すでに実施されてもいる。内容をみると、連結子会社の費用削減で100億円、当社の費用削減では、業務費30億円、修繕費が10億円、動力費が10億円、合計で50億円が予定されていると聞く。しかし、連結子会社の社員の労働条件は悪く、「低コスト化」を進めれば、安全への影響、サービスの低下につながることは十分に予測できる。

収益150億円の下方修正分を、費用の減で穴埋めするというのはあまりにも短絡であり安易な対策であると言わなければならない。

【回答】

本体は営業費で、業務費30億円、修繕費が10億円、動力費が10億円、合計で50億のコスト削減していく。

組合：新幹線の座席のモタレの交換が1両につき、20枚の交換をせよと指示がされている。担当の関連会社の社員は、20枚を選ぶのに大変な作業となる。

会社：個別の事柄については個々では把握していないので、問題については地方で協議する。

(3)長期債務について、平成21年度・第2四半期の実績では、連結で8億円、単体で67億円増えている。この理由は何か。また、通期の見通しでは、連結で680億円、単体で500億円の縮減となっている。この様な状態でいいのか。見通しはどうか。

【回答】

金利動向や運輸収入をみながら、資金調達をしている。返済スケジュールに基づき返済しており、たまたま中間決算では増えたが、期末決算までには予定通り債務残高を縮減する。リニア、東海道新幹線の整備などバランスを取りながら返済していく。

(4)リニア中央新幹線・名松線一部区間廃止について、「労働協約」の「経営協議会」にあたる「付議事項」では、「事業の運営計画」に関する事項では、労働組合に説明することが定められている。この間、「リニア」に関しては、マスコミ発表が先行しているが、労働組合に対する説明がない。改めて申し入れるので、誠意ある対応をされたい。あわせて昨日名松線の廃止について発表されたが、これについても「事業の運営計画」に該当すると考えるので前広に説明するべきである

【回答】

経営協議会の場合でも質問されれば答えるし、これまでも説明してきている。労組に説明する必要があると判断すれば説明、回答している。協約に従って対応しているつもりである。

名松線については「廃止」を施策として決まったこととして説明しているのではない。全面廃止ではない。「バス転換することをご相談させていただきたい」と意思表示をした段階。組合に説明するものはまだない。

(5) 社員の苦勞に報いるため、年末手当については、われわれの要求を誠実に受け止め、回答されたい。

【回答】

年末手当については、団交の場で議論する。ここでは差し控える。

以 上